



全 日 (18年6月27日)

◎ サマーワ主力

○ 人員・武器・装具異状なし

○ 警備態勢：██████

○ 人道復興支援関連

◆ 医療

一外務省等との調整

◆ 学校等の公共施設の復旧・整備

・ 学校の改修：

一2カ所(サマーワ、ルメイサ)での役務作業

・ 道路の改修：

一3カ所(サマーワ×3)での役務作業

・ PHCの改修：

一2カ所(サマーワ×2)での役務作業

・ 給水関連施設の改修：

一7カ所(サマーワ×2、ヒドル、ワルカ×2、ルメイサ、ルメイサ～サマーワ間)での役務作業

・ 青年・女性・福祉関連施設の改修：

一2カ所(サマーワ、ヒドル)での役務作業

全 日 (18年6月27日)

○ 撤収業務関連

・ 後送物品のコンテナ詰め(作成5個/計画4個)

・ 役務コンボイ(2個)によるコンテナ(24個)及び車両(18両)の後送  
別紙「撤収作業」

○ 宿营地関連施設の整備

・ 宿营地散水

・ ゴミ回収

・ 尿尿汲み取り

・ 冷凍・冷蔵コンテナメンテナンス

・ Tレックス

・ 環境維持作業

・ コンボイ作業

○ 6月27日現在の雇用人員

計463名(累計：480, 959名) ※ 細部別表「雇用者」参照

○ その他(特記事項)

・ 宿营地において部族長招へい行事を実施

別紙「部族長招へい行事」

・ 供与RO浄水機により給水車延べ20両に対し約280t(約62,222人分)が配水された。

6月27日まで計約80,160t(約17,813,333人分)配水(4.5リットル/人・日換算)

全 般 (18年6月27日)

- ◎ クウェート(クウェート分遣班、後送業務隊)
  - ・ 第12旅団長対応
  - ・ 後送業務隊に対するクウェート入国支援及び弾薬・装備品交付
  - ・ ナビスタ国境通過支援
  - ・ 本邦後送品後送準備
  - ・ 撤収関連業務
    - ー 指揮所及び通信等の整備
    - ー コンボイの受入、KGL倉庫への集積
    - ー RSU主力、クウェート到着
- ◎ バクダッドLO
  - ・ 連絡調整及び情報収集
  - ・ COA/MNF-I COAミーティング
- ◎ バスラLO
  - ・ 情報要求対応及び定例情報収集
  - ・ 定例会議出席
  - ・ MJLC会議、EOD会議、C-IED会議参加
  - ・ 航空輸送調整
- ◎ スミッティLO
  - ・ 情報要求対応等
  - ・ 各種業務調整等
  - ・ 各種ミーティング等
- ◎ クウェート大使館LO
  - ・ 連絡調整及び情報収集

撤収の進捗状況 (18年6月27日)

項目	進捗状況		評価	備考
復興支援活動の整理	0%		現在進行中	16件実施中
宿営地の整理	IAの地権者対策・県知事対処について確認		現在進行中	
物品の不要決定処置	0%		順調	不要決定上申中
コンテナ詰め	49%	29,797/60,122	順調	
コンテナ輸送	25%	84/337	順調	
人員輸送	0%			

徴収関連業務成果(6月27日)

区分	業務内容
コンテナ作成	<p><b>5個コンテナ作成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●車両物品 : 4個 (車両付属品、タイヤ等)</li> <li>●施設物品 : 1個 (部品等)</li> </ul>
輸送	<p><b>サマーワ⇒クウェート</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●コンテナ : 28個</li> <li>●車 両 : 18両 (ダンプ、大・中・小型トラック、水トレーラ等)</li> </ul>

輸送業務進捗状況(サマーワ)

区 分	計 画		実 績 (d)	進捗度		残数	備考
	総 数 (a)	当該日迄 (b)		総数比 (d/a)	計画比 (d/b)		
コンテナ詰 (弾薬除く、点数)	60,122	29,797	29,131 【2,057】	49%	98%	30,991	
後送	コンテナ	337	84 【28】	25%	100%	253	
	車両	203	35 【18】	17%	100%	168	

【 】内は、6月27日分の実績を示す。

日用者 (18年6月27日)

別表

区分	人員数(名)	小計(名)	合計(名)	
宿営地外役務	医療	48	281	463
	学校修復	63		
	道路補修	55		
	青年・スポーツ・女性	2		
	給水関連	113		
宿営地内役務	通訳	64	182	
	警備	40		
	給仕	1		
	ゴミ処理	3		
	し尿処理	3		
	清掃	3		
	エンジニア	2		
	タクシー	25		
	床屋	2		
	弁護士	2		
	アドバイザー	1		
	電気工等	3		
	調査員	8		
耐弾性強化施設補修	20			
コンテナメンテナンス	5			

上段:増人員数  
下段:減人員数

人員現況

区分	サーフ		クウェート		バグダッド		バスラ		サウジアラビア		マリ		国内		国外		(備考) 増減の状況及び 増減人員の状況	
	増減人員	所在人員	増減人員	所在人員	増減人員	所在人員	増減人員	所在人員	増減人員	所在人員	増減人員	所在人員	増減人員	所在人員	増減人員	所在人員		
10次要務班	481	481	25	474	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	バグダッド マリ クウェート タリル-SW
10次要務班 派遣隊	10	10	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
業務支援隊 炊事員	109	74	2	75	25	28	5	5	4	4	1	1	0	0	0	0	0	SW KW (タリル-SW)
派遣員	105	10	0	12	95	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	※米07名 (KW入国)
合計	705	575	27	571	120	123	5	8	4	4	1	1	0	0	0	0	0	

※ クウェートにはクウェート大使館LO1名を含む

本日のTV電話使用者数:0名、FOMA使用者数: 33名 237分(10次要務班電話合計:0名、FOMA合計:1090名)

散収関連業務予定(6月28日)

区分	業務内容
コンテナ作成	<p>5個コンテナ作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●車両物品 : 4個(組部品等)</li> <li>●需品物品 : 1個(給水関連資材)</li> </ul>
輸送	<p>サマーワ⇒クウェート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●なし</li> </ul>

負傷者の状況

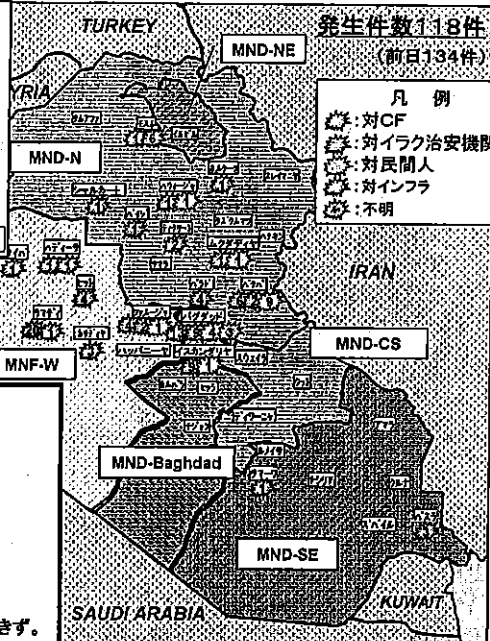
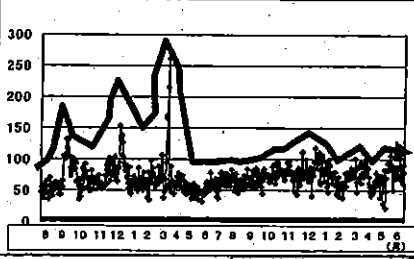
18. 6. 27現在

負傷者	現状		今後の予定等
	症状	処置・経過等	
<p>■■■■■ (警備中隊)</p>	<p>頭部打撲(額裂傷) 左肩甲骨骨折 右肋骨骨折 右血気胸</p> <p>左肋骨骨折</p>	<p>バグダッドの第10戦闘支援病院でCT検査を実施したところ、大きな変化なし 気管挿管チューブは抜管 27日1920dヘリでバグダッド発、1945dパド着、第332戦闘支援病院に一時的に入院</p>	<p>28日2030dパド発、アリアルサレム行き便に搭乗、クウェートのキャンプアリアフジャンに後送予定</p>
<p>■■■■■ (本管中隊)</p>	<p>左肩甲骨骨折 左頭部裂傷 左肋骨骨折</p>	<p>キャンプ・アリアフジャンにおいて、レントゲン撮影等の検査を実施、経過良好</p>	<p>一般病棟で経過観察</p>
<p>■■■■■ (警備中隊)</p>	<p>右橈骨骨折 右膝裂傷 両肺挫傷(軽度) 右血気胸 鼻骨骨折</p>	<p>タリル病院において、右橈骨骨折に対する固定処置及び右膝の裂傷に対する縫合を実施後、キャンプ・アリアフジャンにおいて、CTによる精査を実施 CTによる精査の結果、両肺の軽度挫傷及び右の血気胸を認め、いずれも処置については必要なし</p>	<p>経過観察及び顔面精査を実施予定</p>

※ 下線は、27日に新たに判明した症状(訂正を含む。)

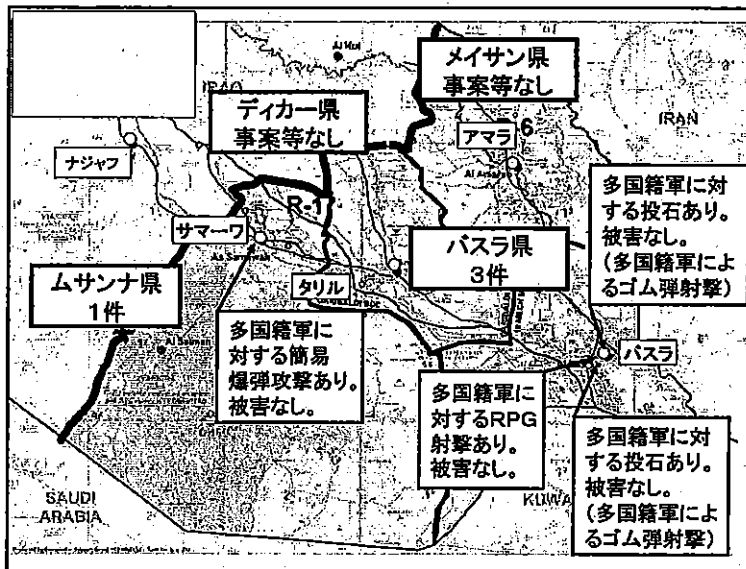
■■■■■ OK  
 鼻挫傷  
 (鼻骨骨折)  
 ■■■■■ と  
 どうぞ  
 対応中

事案等の発生状況 (26日0700~27日0700)



- ☆ 全般としてイラク全土の不安定な情勢変化なし。
- ☆ 細部発生状況
- 時期  
基地等: 昼夜間関係なし。  
移動部隊等: 昼夜間関係なし。
- 手段  
基地等: 砲撃(迫撃砲、ロケット)主体  
移動部隊等: 小火器、RPG、即製爆弾主体
- 地域別状況: バグダッド地域を中心とする中部一帯及び西部で活動活発  
中南部及び南東部地域: 比較的安定、但し油断できず。

事案等の発生状況 (26日0700~27日0700)



ナジャフ

ディカー県  
事案等なし

メイスン県  
事案等なし

アマラ

バスラ県  
3件

ムサンナ県  
1件

サマーワ

タリル

多国籍軍に対する投石あり。  
被害なし。  
(多国籍軍によるゴム弾射撃)

多国籍軍に対する簡易爆弾攻撃あり。  
被害なし。

多国籍軍に対するRPG射撃あり。  
被害なし。

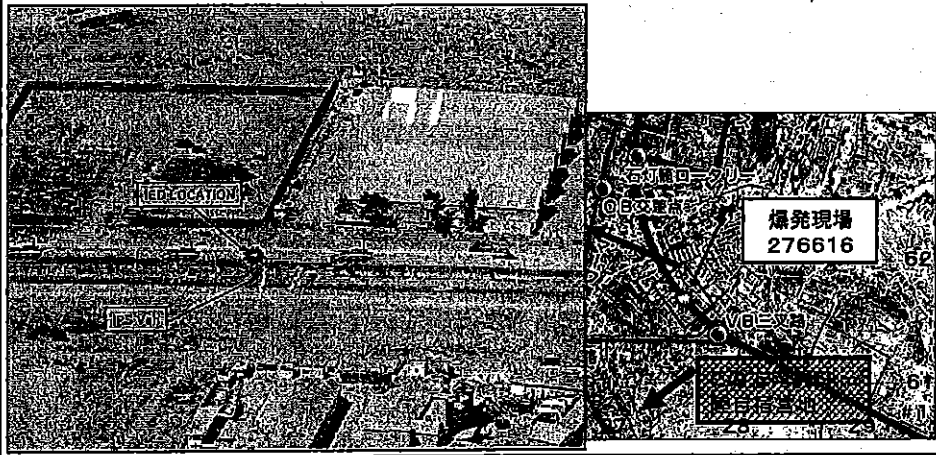
多国籍軍に対する投石あり。  
被害なし。  
(多国籍軍によるゴム弾射撃)

VB三叉路北方におけるIED事案(続報)

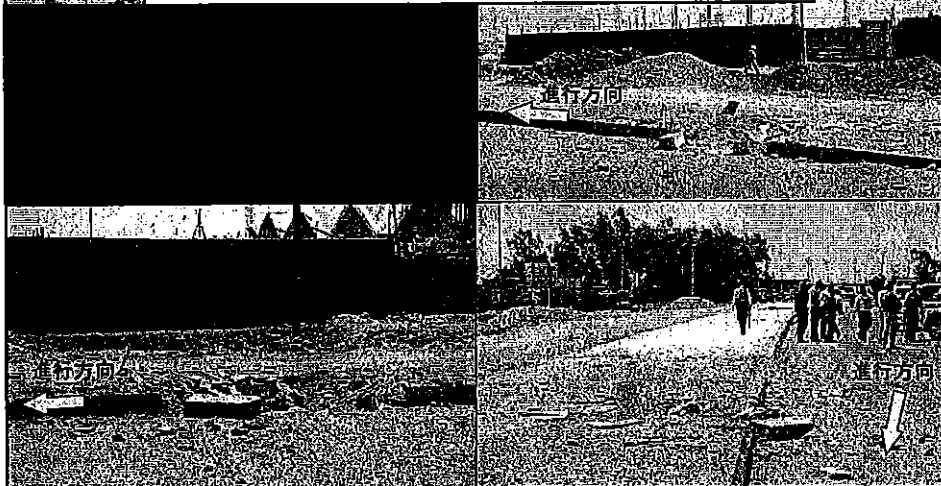


【事案の概要】

- 発生日時: 2006年6月26日1440頃(現地時刻)
- MSRジャクソン(R8)を南東方向に前進していた[REDACTED]が、VB三叉路北方において、西側の道路脇に設置されたIEDによる伏撃を受けた。
- IEDは2両目と3両目の間で爆発したため、被害はなかったが、爆発物の破片が2両の[REDACTED]に降りかかった。



VB三叉路北方におけるIED事案(続報)-2



- IEDは、道路脇(進行方向右側)の歩道下排水溝付近に設置されていた模様、車両からの発見は困難
- 歩道下の排水溝は、一部が道路に面して開放、この場所にIEDが設置
- IEDに使用された爆薬は155mm砲弾であり、導火線(あるいは導爆線)が起爆に使用された模様。導火線も排水溝内に隠蔽されていた可能性
- 使用された砲弾及び起爆方式については、具体的な証拠があるわけではなく、爆発痕の大きさ(幅1.5m、深さ50cm)と他の起爆方式の使用を裏付ける証拠物が確認されないことから推定
- 攻撃を受けた際、[REDACTED]を作動させていなかったことから、無線による起爆の可能性も否定できない。

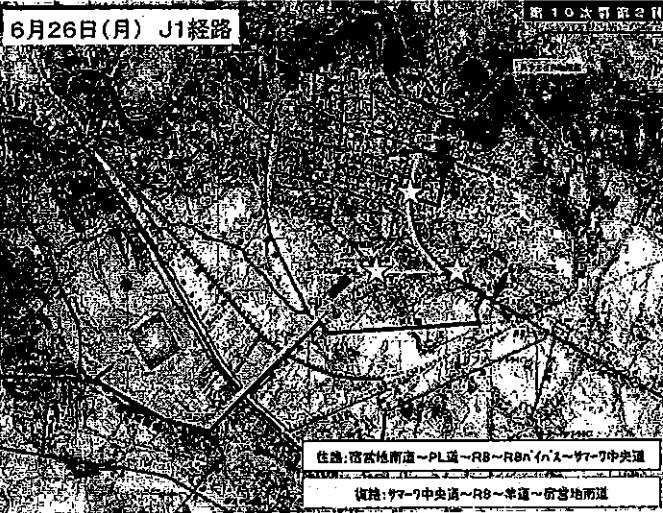


VB三叉路北方におけるIED事案(続報)ー3

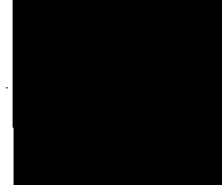


○ 日本隊及び英豪軍がR8の本地点を頻繁に通過することは、サドル派民兵等にも周知されており、攻撃のあった当日(6月26日)も県知事を訪問した群長が1030頃に使用  
 犯人は、本地点にIEDを設置することで、容易に日本隊または英豪軍の車両を攻撃できると考えていた可能性がある。

6月26日(月) J1経路



○ 最近、今回の事案発生現場付近において、



※左図上 ☆ 印

VB三叉路北方におけるIED事案(続報)ー4



- 今回のIED攻撃の犯行主体を特定し得る物的証拠はないが、[REDACTED]は、前回の5月31日の攻撃と同様にサドル派民兵による攻撃の可能性を指摘。また、本事案では前回の5月31日同様、比較的旧式の手段が使用されていることから、サドル派民兵過激派のあまり高くないレベルによって実施された可能性
- 本事案で使用されたIEDは、155mm砲弾であり、歩道下の排水溝に設置されていた模様。このような設置を昼間に昼々を行うことは困難と見られるので、今回のIEDは夜間に設置されていた可能性。この場合、特定の巡警部隊を対象としたものではなく、本地点を通過する任意の日本隊または[REDACTED]の車両を標的としていた可能性が大きいものと思われる  
 今回標的となった[REDACTED]は、ワルガからの帰隊途中、サマワ市内の特定の地点(具体的兆候はないが、経路と通過時間から推測して、アイロン橋や第1ロータリー等)を通過した際に実行犯に連絡が入り、これに基づいて伏撃が実行された可能性
- 今回、[REDACTED]は攻撃直前まで[REDACTED]を使用していなかった。このため、起爆方式として無線起爆方式の可能性もある。無線起爆方式は、最近比較的輕易に用いられている手段であり、[REDACTED]を自動走行に走行することは危険であると言える。  
 市街地における市民の携帯電話使用を妨げないようこの配慮から使用しなかったこともあるが、サマワにおいても現実には市街地や市街地近傍における攻撃が行われているため、安全確保上は[REDACTED]との連絡通話の場合等、必要最小限の場合を除き、[REDACTED]は常時使用するべき。
- ムサン市街内におけるIEDは、5月11日以後、ここ1ヶ月半の間に3回生じており、発生頻度が増加。使用されるIEDは、必ずしも先進的なものではないが、輕易に使用できる攻撃手段としてテロ組織等に認識されている可能性があることを承知する必要

イラク全土の全般情勢評価(6. 27)			注意
			(6月23日変更)
区分	内容	備考	
全般	1 バグダッド中心に北・西部において多国籍軍・イラク治安部隊に対する攻撃継続 2 政治プロセス、宗派間対立に起因するテロ、衝突等が継続	6/23修正	
スンニ過激派 国際テロリスト	1 当面は現在のレベルでの活動(反多国籍軍・イラク治安部隊・イラク政府)を継続(急激な過激化または衰退の兆候はなし) 2 アンサル・スンナとザルカウィGpの共闘が変化する可能性 3 ザルカウィ関連Gpの活動が変化する可能性 4 「反占領」を主眼に今後も脅威であり続ける 5 暴力と恐怖による方法(テロ)は今後も継続	6/23修正 6/8修正 6/8修正	
サドル派	1 政治路線の継続。サドル派中央の意向に従う様に各地のサドル派民兵の再構築を企図	6/8修正	
特記事項	1 市場等多数の人が集まる場を狙ったテロ	6/23修正	

イラク南東部の全般情勢評価(6. 27)			注意
			(6月23日変更)
区分	内容	備考	
全般	1 バスラを除き比較的安定しているが、多国籍軍、イラク治安部隊等への攻撃が発生 2 ムサンナ県を含む南東部各県において簡易爆弾による攻撃が発生 3 バスラの不安定な治安情勢が継続する可能性 ・ シーア派とスンニ派間の宗派間対立が継続 ・ 多国籍師団(南東部)、イラク治安部隊が実施する治安維持作戦への反発から簡易爆弾、間接射撃による攻撃が継続する可能性	6/23修正 6/23修正 6/23修正	
スンニ過激派 国際テロリスト	1 宗派間対立に起因するシーア派への攻撃を継続	6/23修正	
サドル派	1 サドル派中央の意向に従わない過激派が存在 2 地方選挙に向けサドル派民兵とバドル組織との緊張が高まる可能性	6/23修正 1/14追加	
MSR/ASR	1 簡易爆弾、小火器射撃、友軍相撃、カージャック、ロードスパイク等が発生 特に、撤収開始にともない移動部隊数が増大することにより、攻撃に遭遇する危険が増大する可能性	6/23修正	
タリルAB	1 移動経路上の簡易爆弾、RPG、小火器射撃による攻撃、基地への間接射撃、航空機に対する対空攻撃が実施される可能性 特に、撤収開始にともない移動部隊数が増大することにより、攻撃に遭遇する危険が増大する可能性	6/23修正	

ムサンナ県の全般情勢評価(6.27)-1		
(6月23日変更)		
区分	内容	備考
全般	1 比較的安定、しかしながら油断は出来ず 2 県の治安権限移譲に向けたマリーキー首相の発表、日本隊及び英豪軍の撤収の表明等を受けて、多国籍軍撤収後に向けた各勢力の動きが逐次活発化する可能性 3 イラク治安部隊の治安維持能力は逐次向上しており、県の治安権限移譲に向けてグリーンの評価を得ている。 4 IEDを用いた攻撃が比較的輕易に行われる可能性 この際、EFP等の高度な技術を要するIEDに加えて、比較的短時間に設置できるIEDや旧式のIEDが使用される可能性	6/23修正  6/8修正  6/27修正
スンニ過激派 国際テロリスト	1 スンニ派テロリスト等が活動する可能性は低い、他地域で活動するために一時的に滞在する可能性	6/8修正
部族関連	1 日本隊または英豪軍撤収に対する不満や不安を持った部族関係者が存在する可能性	6/23修正
デモ関連	1 治安機関によって当面のデモの発生は効果的に抑止されているが、燃料、電力、雇用状況の根本的な改善は図られておらず、また、治安機関が現在の高いオープンポを長期間継続することは困難であると見積もられるため、今後もデモや暴動が発生する可能性は継続	6/15修正

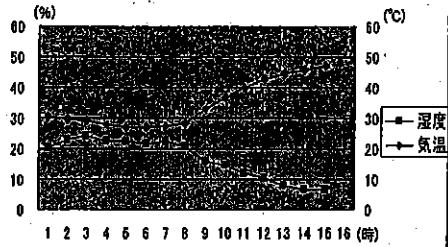
ムサンナ県の全般情勢評価(6.27)-2		
(6月23日変更)		
区分	内容	備考
サドル派	1 地方選挙に向けサドル派民兵とバドル組織との緊張が高まる可能性(サドル派民兵は英豪軍撤収後の勢力伸長に備えて、治安権限移譲までの間、勢力の温存を図る可能性) 2 5月13日に発生したサドル派民兵とイラク治安部隊との抗争に関連して、ナジャフのサドル派事務所中央は、サマーワサドル派事務所/サドル派民兵への統制の強化を図った模様。この動きに対して、ザルガニ師を中心とするサドル派民兵過激派は、勢力の盛り返しを企図し、多国籍軍等への攻撃やデモの組織化等を実施する可能性 3 サドル派民兵過激派等により、宿营地外活動を実施中の部隊に対する臨機の簡易爆弾、RPG、小火器射撃による攻撃及び宿营地に対する間接射撃等による攻撃が実施される可能性 この際、県知事公舎周辺等のサマーワ市中心部及びCooperative Zone(イエロー・ゾーン)内とその周辺部は注意を要する。	6/23修正  6/4修正  6/23修正

## 現地の気象情報

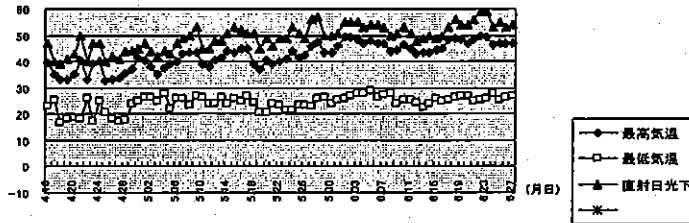
### 報告内容

明日の日の出 : 0556(サマータイム)  
 明日の日の入 : 2008  
 明日の月齢 : 2.6  
 明日の月出没 : (出28日0812~没28日2230)  
 本日の天候 : 晴れ  
 本日の気温 : 最高47.1℃最低27.0℃  
                   : 最高54℃(直射日光下)  
 本日の平均湿度 : 16.8%

気温・湿度推移(サマータイム)



(°C) 月間推移



## 18年6月28日(火)の活動予定

コール	行動名	時程	活動内容等	車両
J1	隊長の行動	0730	就寝長報告 群集礼 デイリーミーティング 30日J任務経路等について(仰指)	
		0755		
		0800		
		0810		
		0815		
		0830		
		0900		
		0915		
			大型発電所事業推進式 別示 宿营地 発 大型発電所推進式会場 着(サマーワ) 大型発電所推進式会場 発(サマーワ) 宿营地 着	LAV(G)×4 LAV(GJ)×1
		1140	宿营地内勤務	
		1300		
		1300	第6週週間作戦計画について(報告)	
		1340		
		1400	外務省とのTV会議	
		1500		
1500	活動命令(案)について(仰指)			
1515				
1515	29日行動証明について(仰指)			
1600				
1605	作戦会議			
1635				

18年6月28日(火)の活動予定

コール	行動名	時程	活動内容等	車両
J2.	業務支援隊長の行動	0745 0800	隊朝礼	
		0800 0810	群朝礼	
		0815 0830	デイリーミーティング	
		0830 1100	宿営地内勤務	
		1100 1130	来訪者対応(ルメイサ市評議会議長)	
		1130 1300	宿営地内勤務	
		1300 1340	第6週週間作戦計画について(報告)	
		1400 1500	外務省とのTV会議	
		1540 1600	CIMICミーティング	
		1605 1635	作戦会議	
		1635 1655	隊ミーティング	
		1930 2000	外務省との定例ミーティング	

18年6月28日(火)の活動予定

コール	行動名	時程	活動内容等	車両
J21	対外國慶(式典準備)	0930 0950 1130 1150	大型発電所事業推進式 宿営地 発 大型発電所推進式会場 着(サマーワ) 大型発電所推進式会場 発(サマーワ) 宿営地 着	LAV(G)×3 LAV(GJ)×2 HMV(C)×1 WAPC(G)×1
J201	GRF(A)			
J202	GRF(B)			
S6☆	役務準備員配置	28日 1130~ 1930~ 29日 0530~	宿営地~運河警戒位置~宿営地	

18年6月28日(火)の活動予定

コール	行動名	時程	活動内容等	車両
S8	看護技術教育(出島)	1000 1230	看護学校教師に対する看護技術教育	Amb(Med)×1
S11★	警 衛	[Redacted]	警 衛	[Redacted]
		[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
S12★	浄水活動(運 河)	0730~1000	大量送水システム点検・始動	LAV(HS)×1 LAV(G)×1

18年6月28日(火)の活動予定

コール	行動名	時程	活動内容等	車両
S13a	宿営地内工事、作業	0830~1600	宿営地放水	
S13b		0830~1600	ゴミ回収	
S13c		0830~1600	屎尿取り取り	
S13d		0830~1600	環境維持作業	特大型(E)×1
S13e		0900~1600	冷凍冷蔵コンテナメンテナンス	
S13f		0900~1600	ドレックス	
S13g★		1300~1500	コンテナスキャナー点検・整備	LAV(HS)×1
S13h★		0800~0900	燃料給油(0~3ゲート)	大型(HS)×1
S13i★		0900~1200	有線・電話機撤収	中型(HS)×1
S15	群主力の行動	0800 0810	群朝礼	
		0810 1600	宿営地内活動	
		(0700~1600)	群統制(コンテナ作成、処分等)	
S16	空中監視活動	28日0830 ~ 29日0830	空中監視活動	

18年6月28日(水)の活動予定

クウェート分遣班、後送業務隊	バグダッドFLO	バスラLO	スミッティLO	クウェート大使館LO
<ul style="list-style-type: none"> <li>後送業務隊に対する慣熟訓練支援</li> <li>大使館連絡調整会議</li> <li>コンボイ準備</li> <li>本邦後送品後送準備</li> <li>後送業務隊長表紙支援</li> <li>機関運搬班               <ul style="list-style-type: none"> <li>指揮所及び通信等の整備</li> <li>慣熟訓練(29日)</li> <li>DB実施</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>連絡調整</li> <li>情報収集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報要求対応</li> <li>定例情報収集</li> <li>定例会議出席</li> <li>航空精送調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報要求対応</li> <li>各種業務調整</li> <li>各種ミーティング等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>連絡調整</li> <li>情報収集</li> </ul>

18.6.27  
イラク復興支援群

朝例会議(6/27/08:15)

- 治安情勢:別途「イラク復興支援群活動報告」第3項「現地の治安状況等」確認
- 警備態勢: [ ]
- 群長指導事項
  - 一日残念ながら、LAVの横転事故により隊員が負傷したが、[ ]の出動、空自及び多国籍軍との連携等の事故後の対処、調整及び指揮幕僚活動は発着と実施できた。今後、このような事故を起こすことのない様、各指揮官・幕僚が一致団結していかなければならない。
  - 一日のサマーフ市内におけるIEDらしき爆発事案に関する情報を引き続き収集せよ。特に、明日のサマーフ大型発電所事業推進式へ及ぼす影響についての分析を実施せよ。

作戦会議(6/27/16:05)

- 治安情勢:別途「イラク復興支援群活動報告」第3項「現地の治安状況等」確認
- 警備態勢: [ ]
- 群長指導事項
  - 一車両横転事故による負傷した隊員3名は、順調に回復しており嬉しく思う。なお、1日も早く回復する事を祈っている。
  - 一明日は、サマーフ大型発電所事業推進式が実施される。これは日本隊にとっても非常に重要な事業であり、この事業が順調に進んでいるという事をムサンナ県民に理解して頂く事は我々の安全を確保する上でも重要である。それぞれの所掌で準備している事項をタスクブリーフィング等において徹底し、整備と成功できるようにせよ。





6月27日付JAM情報最新版(仮訳)

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

評価

[Redacted]

JAM Update: 27 June

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

Assessment:

[Redacted]



### バグダッド日誌 (6月27日)

#### ○安全祈願

バグダッド連絡班の日本隊コンテナには神棚を設け、出国前に職場の皆で参拝して頂いてきた靖国神社の安全祈願の御札を祀っている。

毎日の忙しさの中にも各自それぞれが御札に手お合わせ一日の無事の任務完遂を祈っている。

私の日課は、毎朝御札に水をお供えし、イラク-クウェートでの日本隊の無事をお祈りすることから始まる。いままではプラスチック製のコップでお供えしていたが、前回の追送品で統幕から茶器セットを送って頂いたので、今は陶器の器で水をお供えし、「しっくり」としている。

毎朝、御札に手を合わせる瞬間は非常に心安らく気持ちなり、一日の活力が静かに湧いてくる。

今は全員が無事に帰国し、帰国の折には、この御札を靖国神社にお納めできる日を心待ちにしている。



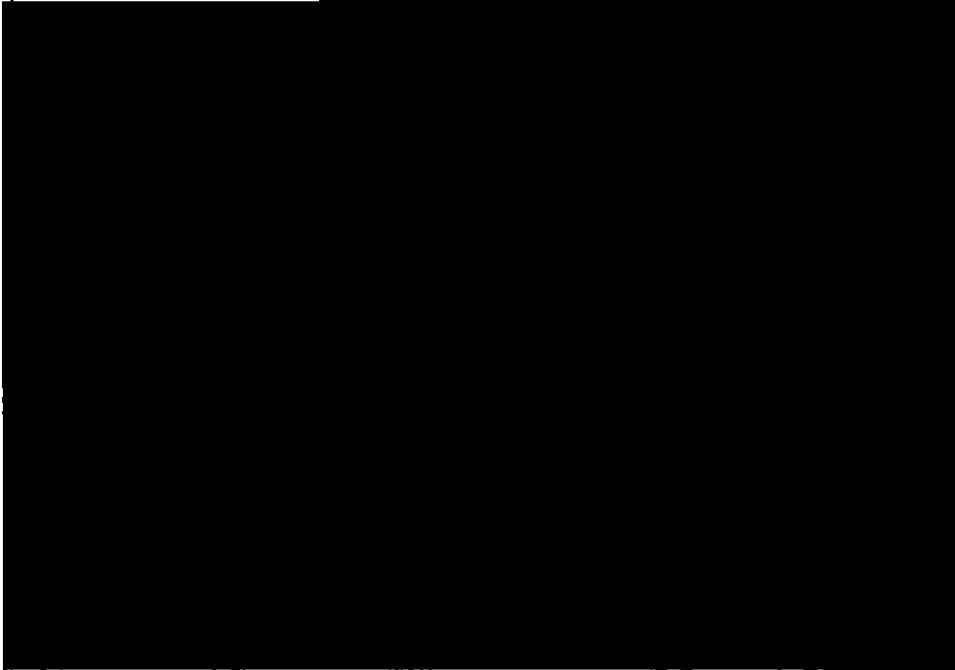


バスラLO日々業務報告(6月27日1900)



区 分	内 容
1 警戒態勢	バスラ空港 [redacted] (警戒態勢) : [redacted]
2 特記事項	(1) [redacted] (2) [redacted]
3 本日の業務	(1) 情報要求対応 SSR (ISPの戦力化の状況)、MND(SE)の将来計画、IED及びIDF関連情報、デモ関連情報等 (2) 定例情報収集 : [redacted] (3) 定例会議への出席 : 司令部朝・夕会議、J2・J3・J9認識統一会議 (4) MJLC会議、EOD会議、C-IED会議参加 (5) 空路輸送調整等
4 明日の予定	(1) 情報要求対応、定例情報収集 (2) 定例会議出席 (3) 空路輸送調整等
5 その他(備考)	

MND-SE管内の状況



バスラ日誌 (6月27日) -154号-

1 本日MJLC (兵站会議) が実施された。今回が最後のMJLC参加となる。サマワでの開催について要請を受けていたが、日本隊の撤収が決まったため受入困難となりバスラにて実施された。今回も、代理参加となったが止むを得ないと思っている。発表資料については第4科多忙中につき、こちらで作成し、撤収計画の概要を説明した。MJLC会議の前日はこれまでもいろいろな事が起き、また何も起こらないと喜んでいたら冷房に悩まされて、寒くて寝られない (シャイバ) 等、本当に縁起が悪いと思っていた。昨日も発表資料の準備を始めていたところ、事案発生第1報が入り、こちらでもメディヴァック発動の準備は整い、いつでも対応できる状況にあったが、現地豪軍からタリルI RTに対し支援要請がなされて負傷者の救出搬送が実施された。タリルベースが近かったこともあり、迅速に対応されたので有り難かったと思う。負傷された方々の状況は通報を受けて逐次承知し、師団にも報告した。当初、師団が把握していた状況は、意識不明2名、重傷1名であったことから、皆さんに心配して頂いた。師団長不在につき、副師団長からお見舞いの言葉を頂くと共に、群長に直接電話でお見舞いを申し上げたいと言われた。

本日朝の師団会議において、3名の隊員の怪我の状況とその後の処置及び全員意識があり命には別状がないことを報告した。骨折等重傷を負われたようだが、高速走行中の横転事故であり不幸中の幸いと思う。症状が悪化することなく、早期快癒されることを祈る。

2 本日EOD会議が開催された。EOD会議は

細部については議事録が発刊されし  
だい報告する。

3 本日快晴。バスラ4名、極めて健康。



スミッティLO日々業務報告(6月27日)

区分	内容
1 警戒態勢等	変化なし: Threat Level
2 特記事項	
3 本日の業務	(1) 情報要求対応等 サマーワ市南方において発生したIED事案関連情報、サマーワ市内等の治安情勢、デモ情報、英豪軍の情勢判断等 (2) 各種業務調整等 タリルAB付近で発生したLAV横転事案関連、業支隊長・政策アドバイザー等キャンプスミッティ訪問関連、明日以降の豪軍支援要請関連、PDCC関連等 (3) 各種ミーティング等 英・豪軍作戦会議参加
4 明日の予定	(1) 情報要求対応等 (2) 各種業務調整等 (3) 各種ミーティング等
5 その他(備考)	明日の射撃訓練 なし

クウェート分遣班業務報告		18. 6. 27
全 般		
<input type="checkbox"/> 国内情勢等： <input type="checkbox"/> 人員・武器等：異状なし <input type="checkbox"/> 人員報告：所属人員23名、事故人員0名、現在員23名	<input type="checkbox"/> 天候：晴れ(砂塵) <input type="checkbox"/> 気温：0700 39℃(44℃) 1100 46℃(54℃) ( )は直射日光	
本日の行動		
恒常業務・その他		
<input type="checkbox"/> 第12旅団長対応 <input type="checkbox"/> 後送業務隊に対するクウェート入国支援及び弾薬・装備品交付 <input type="checkbox"/> ナビスタ国境通過支援 <input type="checkbox"/> 本邦後送品後送準備		
明日の予定		
恒常業務・その他		
<input type="checkbox"/> 後送業務隊に対する慣熟訓練支援 <input type="checkbox"/> 後送業務隊長表敬支援 <input type="checkbox"/> 大使館連絡調整会議 <input type="checkbox"/> コンボイ準備 <input type="checkbox"/> 本邦後送品後送準備		
その他		
なし		

クウェートLO日々業務報告(6月27日1900)	
区 分	内 容
警戒態勢等	警戒レベル <input type="checkbox"/> 国内にテロ情報無し。 日本国外務省渡航安全情報(危険情報)：クウェート全土「十分注意」(N/C)
特記事項	なし
本日の業務	大 使 館
	1 連絡調整等 (1) 視察者対応(12BCG 大使表敬) (2) 情報要求対応 (3) 後送業務隊 入国支援  2 情報収集 情報資料 2件
	CFLCC
	連絡調整等
明日の予定	1 連絡調整等 (1) 後送業務隊長 大使表敬 (2) 大使館連絡調整会議  2 情報収集
その他	なし